

麻布幼稚園だより 11月号

平成28年10月31日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

『責任をもってやり遂げる！』

園長 大島 美知代

「親子運動会」が終わりました。子どもたちの力はすごいです。毎日の練習の積み重ねが行動に表れていました。幼児一人一人がいろいろなことを考え、教師の話すことを聞いたり、友達の行動を見たりして感じ、自分たちのやることを理解して取り組んでいました。幼児ながらに成功させようという気持ちがあり、友達同士で教え合ったり、先生の指示を聞いて動こうとしたり、様々な成長が見られました。

特に幼稚園で最後の運動会の経験となった年長組は、演技「そいや！」と「リレー」の他に係活動を担当し、責任をもって進めました。『責任をもってやり遂げる』ということ、まさに年長組は体験しました。初めはやる気のない様子が見えました。どうやってやればよいのか分からなければ、子どもたちも不安です。教師は目的や何をするのか、その意味を知らせて何度も練習を繰り返し、覚えさせ、安心してできるようにしました。運動会の前々に友達同士での練習を重ねた成果を見せる機会、「チャレンジ」の機会を設けました。「チャレンジ」というのは、園長のところに練習の成果を見せるという取り組みです。まさにこれはテストです。合格なら見事「ぴかぴかシール」がもらえ、「親子運動会」で係をすることができる、残念！不合格なら運動会当日まで、また練習を重ね、「再チャレンジ」となる、というやり方でした。担任は、係を受けもたせたからにはその友達全員で気持ちを合わせて練習し、自分たちの目的に向かって『責任をもってやり遂げさせたい』という思いがあると話していました。私はその担任の思いを受け取り、「チャレンジ」をやることにしました。

どのような姿で私のところに来るのか、楽しみにしていました。すると年長組は「園長先生、チャレンジするから来てください」と大きな声で呼びに来ました。その元気で自信のある呼び方はどのグループも同じだったので、安心して「チャレンジ」の採点に出掛けました。どのグループも「ここで見てください」という場所を指定してそこに行くと、プラカード係は自分たちで目印のコーンを用意し、プラカードを持って所定の場所に立っている、応援団はポンポンを持っていい姿勢で隊形に並んでいる、体操の係は台の上に乗って、待っている、言葉の係は周囲が遊んでいる場所で遊び声が飛び交っている中でもチャレンジをしようと、待っている、という姿がありました。自分たちで友達を集め、園長の前で嬉しそうにチャレンジに臨んでいました。グループに共通だったのは自信や余裕が感じられたということです。まるで「チャレンジ」を楽しんでいました。その理由は、「自分たちの責任を理解し、年長組として果たすことに嬉しさを感じている」という姿でした。私は年長組をたくさん誉め、「ぴかぴかシール」を一人一人に渡しました。

年長組はこの取り組みでますます自信を深め、当日は緊張する中でも立派に役目を友達と一緒に果たすことができました。幼児でも『責任』の重さ、『やり遂げる』大切さを体験できたと思い、教師の指導の重要さをますます感じた出来事です。これから秋が冬へと変化する季節、本園では「スポーツの秋」から「実りの秋」「芸術の秋」へと活動をますます充実させていきます。季節の変わり目、保護者も幼児も体調には十分に留意して登園してください。幼児の成長を一緒に楽しんでいきましょう。

運動能力調査・アンケート調査のお願い

○園内研究会で「運動遊びの充実」についての園内研究をしています。今年度6月の保護者向け「心を育てる教育講座」でご講演をいただいた、東京学芸大学 吉田伊津美准教授の調査に協力することにしました。それは「幼児の運動発達と乳幼児期の運動能力獲得状況および基本的生活習慣の形成との関係」において、「幼児期の運動発達と乳幼児期の運動発達および基本的生活習慣の形成(自立)との関係を明らかにすることを目的とする」という研究です。これから4、5歳児の保護者に質問用紙での調査をお願いします。幼児には「運動能力検査」(25m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、両足連続飛び越し、体支持)を行います。ご協力をお願いいたします。